

みんなで考えよう！

市町村合併

合併市民懇談会・合併パネル討論会などから

9月30日から11月6日まで市内21地区で開催しました合併市民懇談会と10月26日に開催した20歳以下の市民を対象とした懇談会で、市民のみなさんからいただきました、ご意見・要望・質問内容を11種類の大きな区分に分けてお知らせします。もう一度市町村合併の効果について考えてみましょう！

「11月1日号でお知らせした項目は省略します。」



行政区



意見・質問

- ・区の位置づけと業務量は、新市になっても同じか。
- ・区への補助金は現行どおりにしてほしい。

- ・区等コミュニティ単位の広場等の整備を進めてほしい。
- ・防災情報を各区へ流すためのコンピュータの設置をお願いしたい。



回答

行政区の業務内容も、補助金の内容も、6市町村それぞれで、非常に異なっていますので、一定期間は現状のままとし、新市になって検討することになっています。コンピュータ設置については、地域情報化計画に合わせ検討していきます。

負担とサービス



意見・質問

- ・新市になっても人口増の施策を進めてほしい。
- ・新市で諏訪湖浄化と水産業の振興を進めてほしい。
- ・新市では、現在以上に弱者に目を向けた施策を進めてほしい。

- ・新市全体で観光・国際化のアピールをしてほしい。
- ・高原の資源を有効利用し、水資源の確保をしてほしい。
- ・企業の育成と、皆が働き稼げる施策を進めてほしい。

- ・負担もサービスも、現状維持以上の施策を進めてほしい。
- ・合併のデメリットをもっと提示し、メリットとの相殺があることを公表すべきではないか。

- ・合併後の地域の連帯が生まれる施策を進めてほしい。
- ・すばらしい自然を生かした上で、産業都市であることを訴えるべきである。
- ・合併後の各種団体（外郭団体）はどうなるのか。
- ・合併した場合、市民サービスは向上するのか。
- ・現在継続中の土木事業等は継続されるのか。
- ・ごみ減量化に向けて、ごみ収集方法は変わるのか。



回答

6市町村間の事務事業の調整は、基本的には健全財政に配慮しながら、サービスは可能な限り高い水準に、負担は、公平負担の原則に立ち、可能な限り低い水準になるよう調整がされています。サービスについては、新市建設計画案の中の「新市のまちづくりの目標」にしたがって実施していくこととなります。

合併後の各種団体については、先進地では基本的に一本となるよう各団体をお願いしているのとこととであります。

新市名・住所・住居表示



意見・質問

- ・新市の町名・字名（住居表示）はどのようになるのか。
- ・新市の名称候補の決定方法は。
- ・新市の事務所の位置は。
- ・住居表示の変更により手間・費用がかかる。個人負担を少なくしてほしい。



回答

全国で行われている合併による住居表示などを見ると、例えば、「本町」など他の市町村と同一の名称がある場合は、「諏訪市岡谷本町何丁目」となり、また、「岡谷市123番地」の地番のみの場合は、「諏訪市岡谷123番地」となる例が多く、それ以外は、「諏訪市塚間町一丁目」という例が多くあります。

地域局は、「岡谷」という名前（岡谷地域局）は残っていくものと思っております。新市の名称候補の決定につきましては、任意合併協議会で実施し



たアンケート調査も新市名称候補選定小委員会で行った、新市の名称候補の応募においても、「諏訪市」が一番多く、任意合併協議会で決定されたものであります。

人件費削減



意見・質問

- ・議員減は住民の声が届きにくくなり、職員を削減すればサービ
ス低下とならないか。
- ・人件費の削減策は、定年退職を
利用した自然減か、リストラか。
・議員は何人になり、合併後の最
終職員数は、どのくらいになる
のか。

・ビジョンを掲げる前に、未来の
人材を育てる施策が必要ではな
いか。



回答

人口20万人以上の市の議員数は
38人以内となっており、職員数に
ついては、一般行政職の職員を同
規模の松本市と同等の約1100
人を目指しており、自然減により
緩やかに減員したいと考えていま
す。

なお、市民サービスに直接関係
しない、議会・企画・総務等の職
員減によることとし、サービスの
低下にならないようにしたいと考
えています。

新市建設計画と 総合計画の関連性



意見・質問

- ・岡谷市総合計画と新市建設計画
案との整合性と岡谷の独自性の
発揮の方法は。
- ・下水道の普及率・道路の改良率
の低い地域への集中投資や、新
市の本庁が諏訪市となった場合、
岡谷地区が立ち遅れないか。



回答

岡谷市の総合計画の施策につい
ては、新市建設計画の「新市の
まちづくりの目標」の「重点プロ

ジェクト例」でも取り上げており、
継続されるものと考えています。
・独自事業等についても分権型合
併による地域局の独自性により、
それぞれの地域の特徴ある施策が
行われることになるものと考えま
す。

大学



意見・質問

- ・新市での大学誘致の進め方は。
- ・大学誘致の考え方と岡谷市の将
来の工業発展とどう結びつける
のか。

・工業立市のため、芝浦工業大学
誘致を進めてほしい。
・大学誘致が市民と十分議論され
ていない。このまま新市に引き
継ぐのか。



回答

芝浦工業大学から、21世紀に花
開く学部として、岡谷市に設置で
きる実現可能な新しい学部を提案
してやることになっています。
岡谷市の産業のみならず、当地
方の産業に大きな貢献をしていく
学部であると考えており、新市建
設計画の「重点プロジェクト例」
にも取り上げられています。

その他の質問・意見等

- ・賛否両論のシンポジウムを開催
してほしい。
- ・住民の視点で合併に協力する方
法の説明をしてほしい。
- ・合併懇談会に若者の参加が少な
いことがさびしい。
- ・合併出前講座の回数は。
- ・過去に合併できなかった理由は。
・若者が集まり、スケートボード
ができる場所がほしい。



◇合併に関するお問い合わせは…

広域合併推進室

☎23-4811

〔内線1521〕

◆新市建設計画の説明ビデオ・DVDを貸し出します。(時間15分)
お問い合わせは、広域合併推進室へ

みなさんは、6市町村合併にどんな夢を描きますか。今回は11月13日(木)に行われた連合壮年会・連合婦人会・高齢者クラブ連合会の合同主催で新市建設計画案を基に3人のパネラーとコーディネーターとの意見交換を行った「合併パネル討論会」とその中で出されたみなさんの生の声をお知らせします。《内容の一部を抜粋して掲載》

広瀬コーディネーター

市長さんより、住民アンケート調査は順調に回収されてきていると聞きました。アンケートをまだ出されていない方は、今日のディスカッションを参考にしてほしい。合併は将来にわたって誤りのないようにしていかなくてはならない。合併の声が途絶えたとき、岡谷の林市長さんが将来の自治体の財政が厳しくなることを予測し合併にご尽力をされてきました。まず、林市長さんお願いします。

市長

平成9年2月に住民発議による法定合併協議会の設置議案が原村、富士見町で否決されました。以後、合併がタブー視されてきたが、危機感を感じ、平成13年2月に5市町村を訪問し、合併するかしないかに関わらず6市町村は合併問題を一つのテーブルにつき討論すべきと説いてきました。任意合併協議会が平成14年10月に設置され、合併の協議事項は約1200の項目があり、対等合併により、6市町村の庁舎に地域局を置き、今まで通り窓口業務を行います。国は700兆円におよぶ赤字国債、赤字



パネリスト
林 新一郎 岡谷市長



パネリスト
大槻 明さん
(社会福祉協議会会長)

地方債を抱え財政の立て直しのために三位一体の改革をします。今、6市町村の財政が健全性を保っているうちに合併して、合併特例法の恩恵をうけ効率的な良い自治体にしていくことが必要です。人件費だけでも45億円の削減が15年目ぐらいには可能となります。岡谷は第3次総合計画後期基本計画で、工業立市としてスーパーバイスの産地形成を将来像として位置づけしていきたいと思えます。

大槻社会福祉協議会会長

介護保険は今年4月に6市町村で統合されました。介護保険制度は5年先を見通して動いていきます。広域連合の介護保険事業計画策定委員会が年間6回の会合を設け、資料を持ち寄って付け合わせ、すり合わせをして効率的な運営、財政基盤の安定を図り、各々の地域にあった福祉活動の充実と推進をしていきます。『人口の高齢化と推移』について話すと、平成15年で65歳



パネリスト
宮下 和子さん
(前連合婦人会副会長)

以上の人口は、全国で18.9%だが、岡谷は22.6%で高齢化が進んでいます。被保険者数の推移も平成15年から19年まで6市町村で持ち寄って推計しました。諏訪広域で第1号被保険者が4万5847名、認定者5519名、要支援、介護度1で52.2%、介護度2と3が25.7%、介護度4と5が22.1%の状況です。利用状況は、居宅介護は59.3%、施設介護24.5%、認定を受けたが介護は受けていない人が16.2%います。下諏訪町、岡谷市では共稼ぎが多いので施設を利用する者が多いが、茅野市、富士見町、原村では農業従事者が多いので在宅介護が多い傾向です。各地域の特色を十分に生かし、居宅サービス、施設サービスなど細部にわたって論議されてきました。合併となっても、岡谷市では地域におけるいきいきデイ、地域サポートセンターの設置、人材養成研修、障害児の児童クラブ、産婦

パネル 討論会

個性あふれる 豊かな地域づくりを めざして



コーディネーター
 広瀬博人さん
 (元連合社長会長・ジャーナリスト)

の援助事業などを進めていきま
 す。

広瀬コーディネーター

合併して一つになるのだから、
 どんな問題があっても同じスタ
 ンスで介護を受けられます。

宮下連合婦人会副会長

高齢化、少子化、分権化が進み、
 多様化、複雑化した中でも、女
 性は広い視野で物事を考え、広
 い心を持って行動していかなく
 ればいけません。合併によって
 地域局を設けることで住民サー
 ビスに影響が出ないことに安堵
 していますが、合併後、子育て
 支援、教育問題を心配していま
 す。生涯学習は女性団体が大き
 に利用しているので、特に出前
 講座は継続して行ってほしいし、
 思いやりのある街づくりを行っ
 てほしいと思います。ワーク
 ショップの会で合併問題を取
 り上げたとき、福祉と健康の問
 題が一番多く、次に自然と環境
 問題に関心が寄せられています。

広瀬コーディネーター

諏訪湖と八ヶ岳がひびきあう中
 央拠点都市として中央へ発信し
 ていく新市の将来像は、アンケ
 ート調査の参考になったかと思
 います。アンケートは簡単で分
 かりやすかったが、今どのぐら
 い返ってきていますか。

市長

現在、約1万8000通戻って
 きています。アンケートは17日
 (月)までなので、一人でも多
 くの方に回答をいただきたいと
 思います。

質疑

〈会場の市民のみさんから〉

質問

◆国の補助や福祉面を考え
 ると、6市町村が揃って
 合併するのが一番良い。下諏訪
 町が足踏みしている状態と聞く。
 富士見町、原村は前回の否決が
 あり、まだ盛り上がっていない
 と聞くので現状を知りたい。

◆箕輪町のような前例があるので、
 住民投票をしてほしくない。

◆21区の合併市民懇談会が終わっ
 てるが、どの様な意見が出たか。

市長

◆下諏訪町の町長さんは合
 併を前向きに取り組んで
 おり、13地区の所を17地区回っ
 て合併説明会を行っています。
 原村はアンケート調査によって
 民意を掌握していくが、厳しい
 状況と聞いています。富士見町

は41地区を回って合併説明会を
 行い住民投票によって民意を掌
 握します。岡谷市での住民投票
 は、議会でも決まらず、住民も
 混乱してどうにもならない場合
 にありえます。

◆21区を回った合併市民懇談会の
 意見はまとめて「広報おやか」
 に掲載していきます。合併はで
 きるところからやっていきたい
 と思います。

市長

◆合併しないと財政的に苦
 しくなることが理解できた。
 国の財政破綻は箱物を多く造った
 ことが原因と考えるが、合併する
 と建物为空いてくることを協議し
 ているのか。

市長

◆合併すると、10年間で合
 併特別債約800億円使えます。
 6市町村の首長はできるだけ箱物
 は造らず、今ある建物を利用して
 いきます。合併特別債はむやみに
 使わないことになっています。

◆合併後、地域福祉活動と
 しての補助金は継続する
 か。

◆議員の報酬が高い所に合わせた
 ため経費が膨らんだ市町村があ
 ります。

市長

◆議員の報酬は、松本市を参考に
 していきます。議員数は17人か
 ら最終的に38人となります。地
 域が広まるので仕事量は広範囲
 になります。

質問

◆合併するとスリムになる
 ことを具体的に説明してほ
 しい。昔はゴミ、水に関して自
 分の所で処理していたが、今は行
 政が行っている。職員が減るとサ
 ービスが低下すると懸念するが。

市長

◆合併すると松本市と同規
 模の人口となるので、それ
 と比較しての職員数です。松本市
 の行政サービスは行き届いてい
 るので職員が減っても心配ないと思
 います。

広瀬コーディネーター
 対等合併でどの市町村も全く同
 じだと聞くが、中心部を外れる
 とやはり寂れると懸念するところ
 があります。

市長

◆どの様な街づくり、地域づくり
 をするか明確にすることが大事
 です。都市基盤整備ができてい
 る地域は発展します。合併して
 地理的に真ん中であっても、明
 確なビジョンがなければ決して
 発展しないと思います。

広瀬コーディネーター

◆大きく時代は動いているので、
 私たちが考えることは子孫に悔
 いのないようにしていかなくれ
 ばいけないと思います。まだア
 ンケートを出されていない人は、
 今日この討論会を参考に合併に対
 しての意見をを出していただき
 たいと思います。

◇パネル討論会の発言のまま掲載しましたが、合併アンケートの調査は締め切りとなっています。
 次号(12月15日号)で合併アンケート結果をお知らせします。ご協力ありがとうございました。